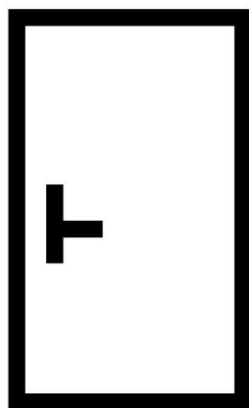


東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」の実績について

(令和5年6月～令和6年9月)



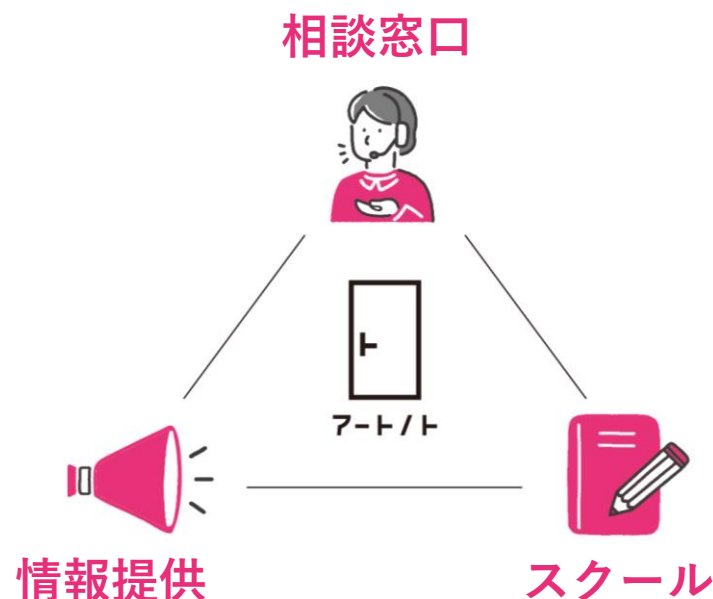
アートノト

令和6年10月31日

■東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」について

東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」は、東京都内で活動するアーティストやあらゆる芸術文化の担い手の持続的な活動を支援し、新たな活動につなげるプラットフォームです。

オンラインを中心に、専門家等と連携しながら、お悩みや困りごとを相談する「相談窓口」、活動に役立つ情報を手に入れる「情報提供」、活動に必要な知識やスキルを身につける「スクール」の3つの機能で総合的にサポートします。



これまでの取組

令和5年	6月	プレオープンイベント開催、スクール先行オープン
	10月	アートノト 総合オープン ・相談窓口、情報提供オープン ・「総合オープン特別企画」公開 ・公式ウェブサイト、公式note、公式YouTubeチャンネル開設
令和6年	1月	出張イベント実施
	4月	LINE公式アカウント開設



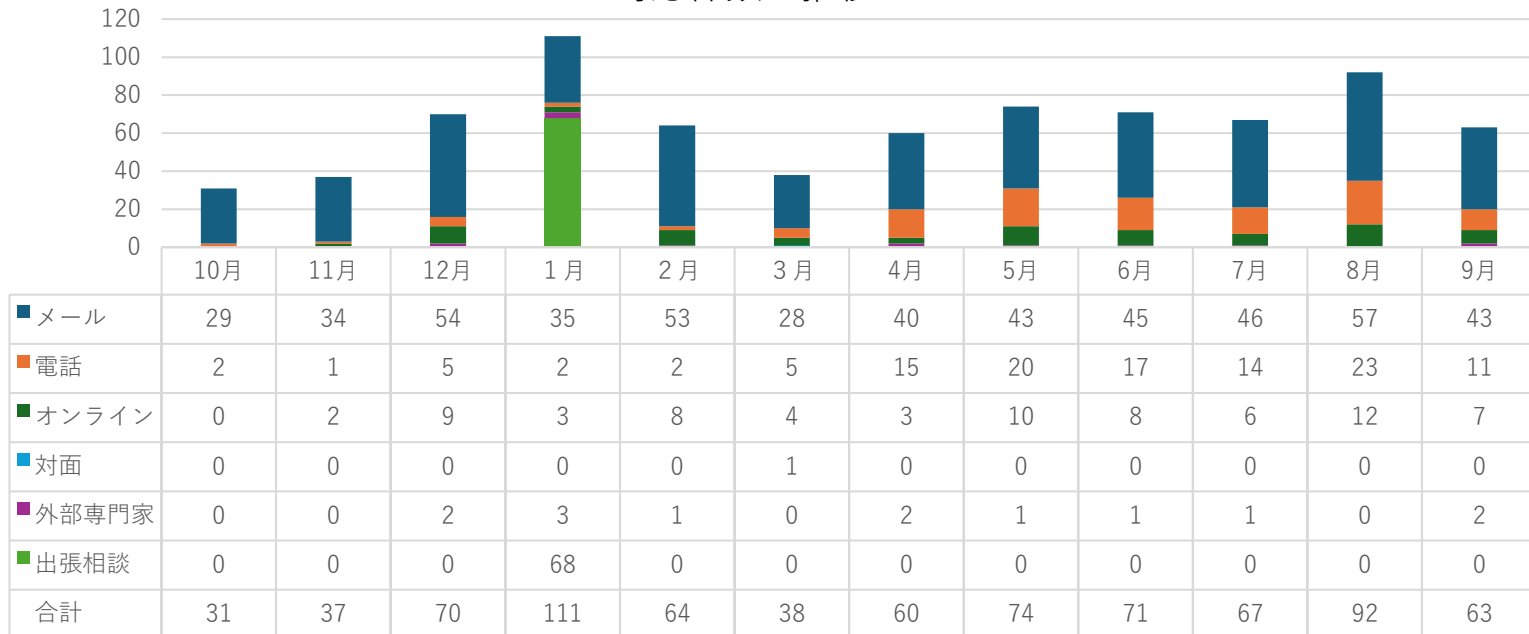
(1) 相談窓口

アーティストやあらゆる芸術文化の担い手が直面するさまざまなお悩みや困りごとについて、芸術文化の知識・経験を持つ相談員が対応し、**解決に向けてお手伝い**。ご相談の内容によっては適切な関係機関におつなぎしたり、必要に応じて弁護士等の外部専門家を紹介しました。

a. 対応件数（合計778件）

- 月間の対応件数は令和5年度の平均47件/月から令和6年度は平均71件/月に増加（出張相談を除く）。特に電話による件数が増えている。
- メールによる対応が最も多く、全体の6割以上を占める。

対応件数の推移



集計期間：令和5年10月～令和6年9月（※令和6年1月27日、28日「ART JOB FAIR 2024」内で行った出張相談を含む）

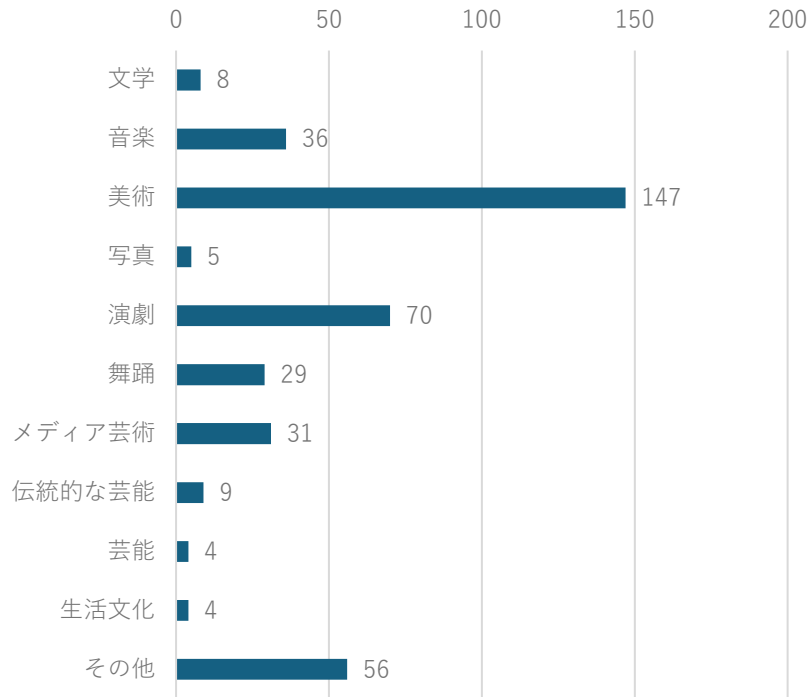


b. 活動分野別件数・相談内容別件数

- 美術分野からの相談が最も多く、全体の3割以上を占める。
- 助成金や活動資金に関する内容が最多。次いでステップアップ、ハラスメント・コミュニケーションなどの相談が多い。

活動分野別件数

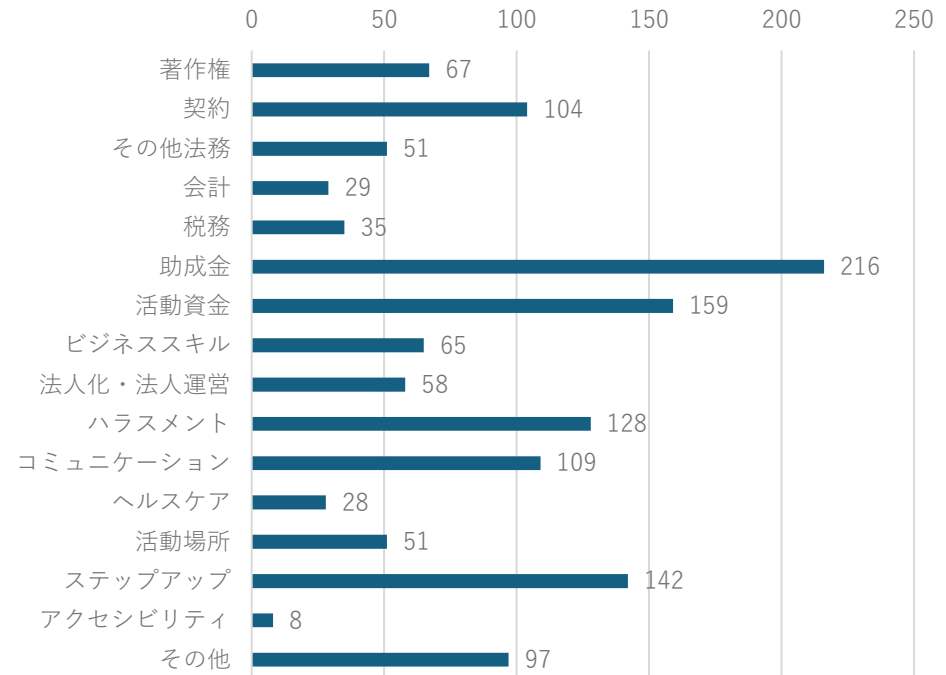
〈単一回答〉



※ N = 399 (活動分野 について回答が得られた件数)
 ※「その他」にはジャンルにとらわれない、特に定めず活動している等が含まれる。

相談内容別件数

〈複数回答〉



※ N = 1,347 (複数回答可)
 ※「アクセシビリティ」については、令和6年5月31日に項目設置
 ※「その他」にはジャンルにとらわれない、特に定めず活動している等が含まれる。



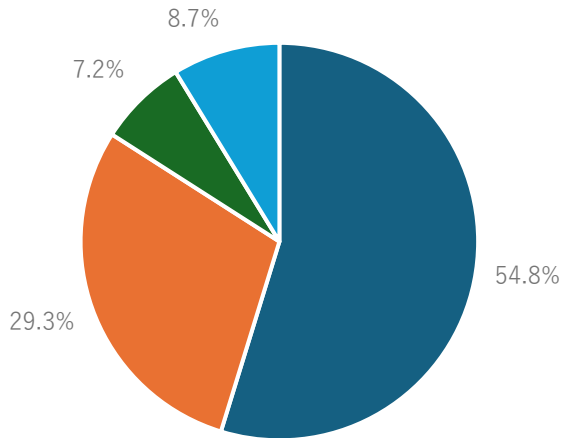
c. 相談者の活動形態、職種等

■活動形態の約半数が個人／フリーランス

■職種等については、約半数がアーティスト、実演家、デザイナー、クリエイターなど

活動形態

〈単一回答〉

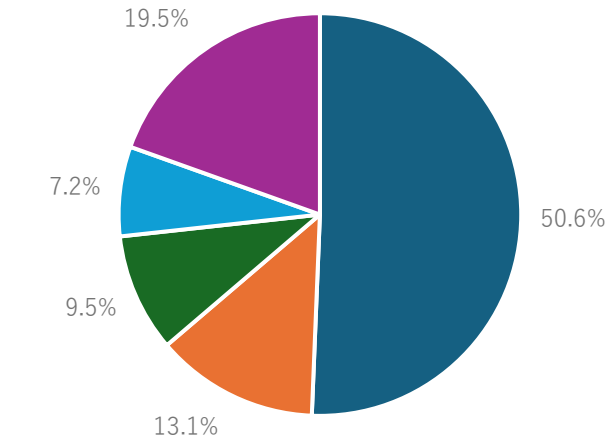


■個人／フリーランス ■企業・団体に所属 ■学生 ■その他

※N = 389（活動形態について回答が得られた件数）
 ※「その他」にはこれから活動を始めようとしている、教室の受講生、会社員と個人での活動を平行等が含まれる。

職種等

〈単一回答〉



■アーティスト、実演家、デザイナー、クリエイターなど
 ■プロデューサー、ディレクター、キュレーターなど
 ■技術・制作等のスタッフ、事務局の職員など
 ■企業・団体等の代表者など
 ■その他

※N = 389（職種等について回答が得られた件数）
 ※「その他」には介護職、大学教員、心理療法士、自治体職員、離職中等が含まれる。



d. 相談事例

【法務・契約】

閉業した会社のキャラクターを自分の作品に使用する方法を知りたい。

【ハラスメント・コミュニケーション】

舞台制作に向けて、ハラスメント防止ガイドラインの作成について相談したい。

【ヘルスケア】

持病があり、今後の身体表現活動がとても不安。受けられるサポートがあるか知りたい。

【ビジネススキル】

任意団体を法人化したいが、運営コスト面に不安がある。

【ステップアップ】

自分の美術活動の広がりや制作に行き詰まりを感じている。

【活動資金】

映画の国際共同制作で申請できる助成金を知りたい。

【アクセシビリティ】

公演にセリフの字幕提供を取り入れたい。

【会計・税務】

自分の任意団体で行っている税務手続きが正しいのか心配だ。

【活動場所】

希望する条件の会場場の探し方について、アドバイスを欲しい。

アートノトには、さまざまな分野のご相談が寄せられます。1件ずつ、丁寧にお伺いし、それぞれの相談に合わせた対応をしております。

芸術文化の知識・経験を持つ相談員が対応します。

- ・ 複雑な状況や出来事をじっくりヒアリング
- ・ 活用できそうな助成金等の情報を提供
- ・ レジデンスや研修、公募等の選択肢を提案
- ・ 法人化する目的や法人の種類等、検討するポイントを一緒に整理
- ・ 芸術家のためのヘルスケア相談窓口や社会保障の情報を紹介、など



必要に応じて弁護士、税理士、社会保険労務士などの外部専門家や専門機関へおつなぎします。

- ・ 作品の権利関係
- ・ 契約締結時の留意点
- ・ 契約不履行発生時の対応
- ・ 税務署への対応方法
- ・ 臨床心理士との面談を実施
- ・ 中小企業向けのワンストップ総合相談窓口等をご案内、など





e. 相談対応事例

実際の相談対応事例を紹介します。



【法務のご相談】

Q. 閉業した会社で使われていたキャラクターを自分の作品制作に使いたいです。今はその会社がないため**権利者の探し方**や、**キャラクターの使い方**で問題となる場合について、教えてほしいです。



【助成金のご相談】

Q. 主催公演の計画があり、任意団体が申請できる**助成金**を探しています。**個人が対象**となる助成金もあれば、併せて教えてもらえますか。



【ビジネススキルのご相談】

Q. 今後事業を成長させるために、**任意団体の法人化**を考えています。法人にかかる年間経費などを考えると心配で、相談したいです。

【窓口の対応】

外部専門家（弁護士）との相談を実施しました。弁護士からは、権利者を調べる方法、権利者からの許諾を得る際の留意点、許諾を得られない場合の対応、リスク等について、助言がありました。

【窓口の対応】

団体の活動状況、公演の実施場所や時期、事業規模等、相談者からの情報をもとに、アーツカウンシル東京を始め申請できると思われる助成団体や、助成金情報のポータルサイト等をお伝えしました。

【窓口の対応】

現在の団体の体制や検討している法人の種類、規模、目的等を丁寧に聞き取り、法人運営経験のある相談員が、考えるためのポイント等を一緒に整理しました。



f. 相談者からの声

相談窓口を利用された方からお寄せいただいた声を紹介します。
※一部抜粋・要約あり。

【外部専門家相談を終えて】

- 外部専門家（弁護士）に相談でき、法律家の立場から**今後の対応の方向性を整理してもらえた**ので助かりました。

【提供した情報について】

- 自分一人では辿り着けなかった**助成金の情報が得られ**、応募することができました。今後も諦めずに情報を探していこうと思います。
- 悩みを解決するための**複数の選択肢**を提案してもらい、自分に合った他の相談窓口を見つけることができました。

【相談窓口について】

- 窓口相談していたイベントを無事に開催することができました。**今後も前向きに事業を続けていくために相談したい**ことが出てきたので、また利用します。
- 相談することにまだ躊躇している人も多いので、気軽に相談できるということがもっと広まって欲しいです。

【相談方法について】

- 対面で相談できる機会**があったのが良かったです。（出張相談利用者）

【相談員の対応について】

- 最初に相談したときは、孤独で心が折れそうになっていましたが、**温かく具体的な回答が力になりました。**
- 相談に**親身になって回答してもらえました。**今回得られた方向性でまずは挑戦してみたいと思います。次のステップに進めたら、また相談したいです。
- 真摯に対応していただき**、前向きに自分のペースで作品発表をしていこうという気持ちになれました。



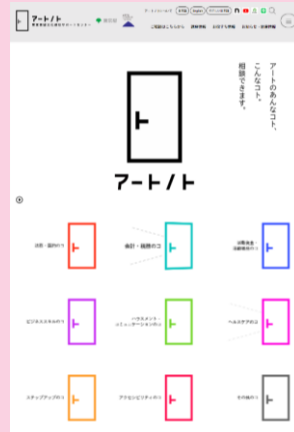


(2) 情報提供

芸術文化活動を行ううえで生じる会計・税務、活動資金・活動場所、ハラスメントなどさまざまなお悩みや困りごとの解決に役立つ情報を提供。ウェブサイト、YouTube、note、LINEなど、複数のメディアプラットフォームを活用して情報を一元的に発信しました。

公式ウェブサイト

アートノトの相談窓口や講座情報の他、芸術文化活動におけるお役立ち情報を**9つのテーマ**で発信。「活動資金・活動場所」、「法務・契約」、「ハラスメント・コミュニケーション」のテーマについて、特にアクセスが多い傾向がみられる。



公式YouTubeチャンネル

実施した講座のアーカイブ動画や研修動画、総合オープンにあたってのメッセージ動画等を配信。これまでに**43の動画**を公開

■主な再生リスト

- ・芸術文化団体の持続的な活動支援講座
- ・芸術文化の担い手のための法務講座2023
- ・創造現場のビジネススキルははじめの一步
- ・ハラスメント防止講座2024



公式note

第一線で活躍する専門家による「アートノトお悩みお助け辞典」やエンターテイメント・ロイヤーズネットワークによる「エンターテイメント法務Q&A」、事業実施レポートなど、芸術文化活動において役立つコラムを発信。これまでに**70の記事**を公開



LINE公式アカウント

アートノトの講座やイベント、コンテンツ更新のお知らせをはじめ、都立文化施設等とも連携しながら、**助成や支援プログラム**など、芸術文化の活動を行う上で役立つ情報をタイムリーに発信。相談への申込みや講座ページへのアクセスも容易に。





情報提供事例 - 公式noteによる情報提供

公開記事数：70 全体ビュー数：17,592（集計期間：令和5年10月～令和6年9月）
芸術文化活動を行う上で役に立つコラムや事業レポートを発信

●アートノトお悩みお助け辞典

第一線で活躍する各分野の専門家にご協力いただき、芸術文化活動に役立つ情報をお届けするコラムシリーズ。日常的に必要なとされている情報から社会の動きに合わせたタイムリーな情報まで、さまざまなテーマを扱っている。

【タイトル一覧】

- ・コミュニケーションルールの確認のための「ハラスメント防止研修」
- ・アーティスト必見！**確定申告**のススメ
- ・起こっても慌てないための「**トラブル対応**」スキル
- ・撮影・配信・SNSに必須の**権利知識**に関するQ&A
- ・**活動場所**の探し方・使い方
- ・芸術文化活動において知っておきたい**フリーランス法**のこと
- ・「**合理的配慮**」とは？～だれもが文化芸術を楽しむ社会を実現するためのポイント解説～
- ・ハラスメント相談窓口の設置のヒント

●エンターテインメント法務Q & A〔第3版〕

「エンターテインメント法務Q & A〔第3版〕」（株式会社民事法研究会発行）を抜粋掲載。芸術文化活動に役立つ法務知識を提供

- ・「SNS上の権利侵害」
- ・「映り込みと商標」
- ・「アーティストの芸名／バンド名」 など

芸術文化業界におけるハラスメント相談窓口の重要性

芸術文化業界のクリエイティブな活動は、プロジェクトベースの仕事や、異なる組織、フリーランスの方々とのコラボレーションも多く、関わる方々同士の人間関係が非常に緊密になります。

異なるバックグラウンドや考え方を持つ人々が集まるため、文化的な違いや個々の価値観が摩擦を生むことがあります。そういった摩擦は上手く対話や議論に繋げていけば、作品や事業をクリエイティブにブラッシュアップしていくことにつながる可能性もありますが、そこに権力勾配があり、権力を持つ立場が自分のパワーを理解し適切に扱っていない場合、ハラスメントにつながる可能性があります。その衝突が健全なものなのか、それとも健全な衝突だと思っているのは権力者だけで、実は相手はとても傷ついているのではないか。ハラスメント相談窓口を設置することで、こうした問題が表面化しやすくなり、早い段階での対応が可能になります。



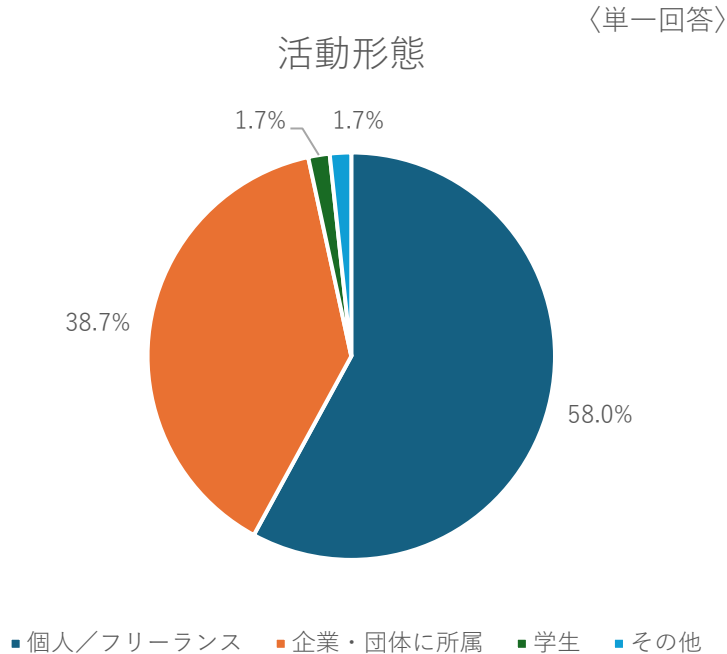
いろいろな方が関わる「事業単位」ならば相談窓口設置の可能性は広がります

アートノトお悩みお助け辞典
「ハラスメント相談窓口の設置のヒント」より



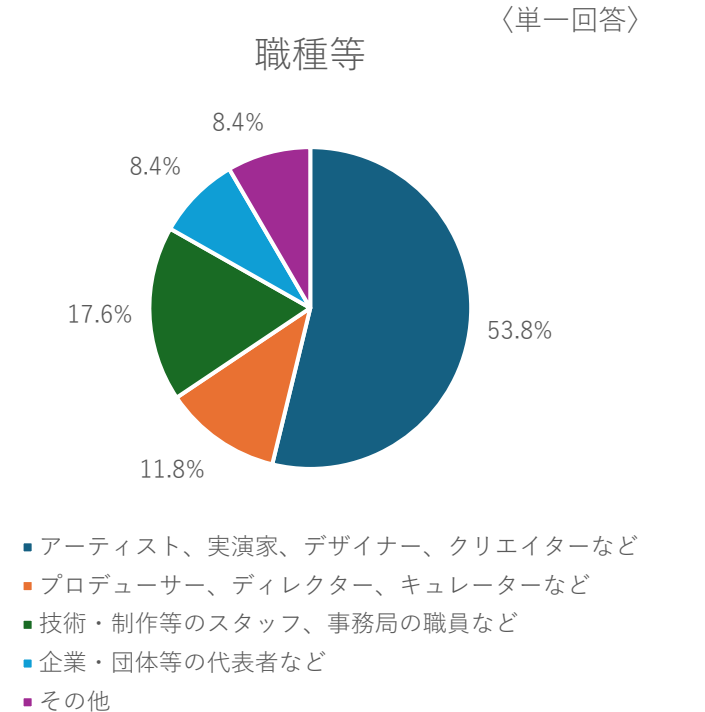
a. LINE公式アカウント利用者の活動形態、職種等

- 個人・フリーランスでの活動形態が6割弱を占める。
- アーティスト、実演家、デザイナー、クリエイターなどの職種が約半数を占める。



※N = 119

※「その他」にはエキストラ派遣等が含まれる。



※N = 119

※「その他」には無職、複数に該当する等が含まれる。

LINE公式アカウント利用者アンケート 実施期間：令和6年9月13日（金）～9月30日（月）

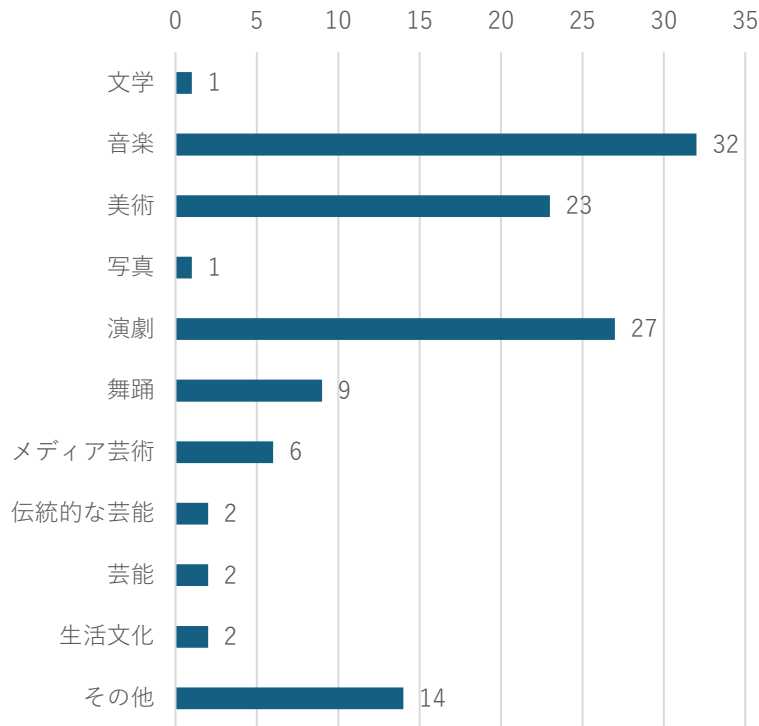
LINE友だち数：806 回答数：119 回答率：14.8%



b. LINE公式アカウント利用者の 活動分野、活動を行う上で関心のあること

- 音楽分野が最多。次いで演劇、美術が多い。
- 活動資金に関する関心が最も多い。

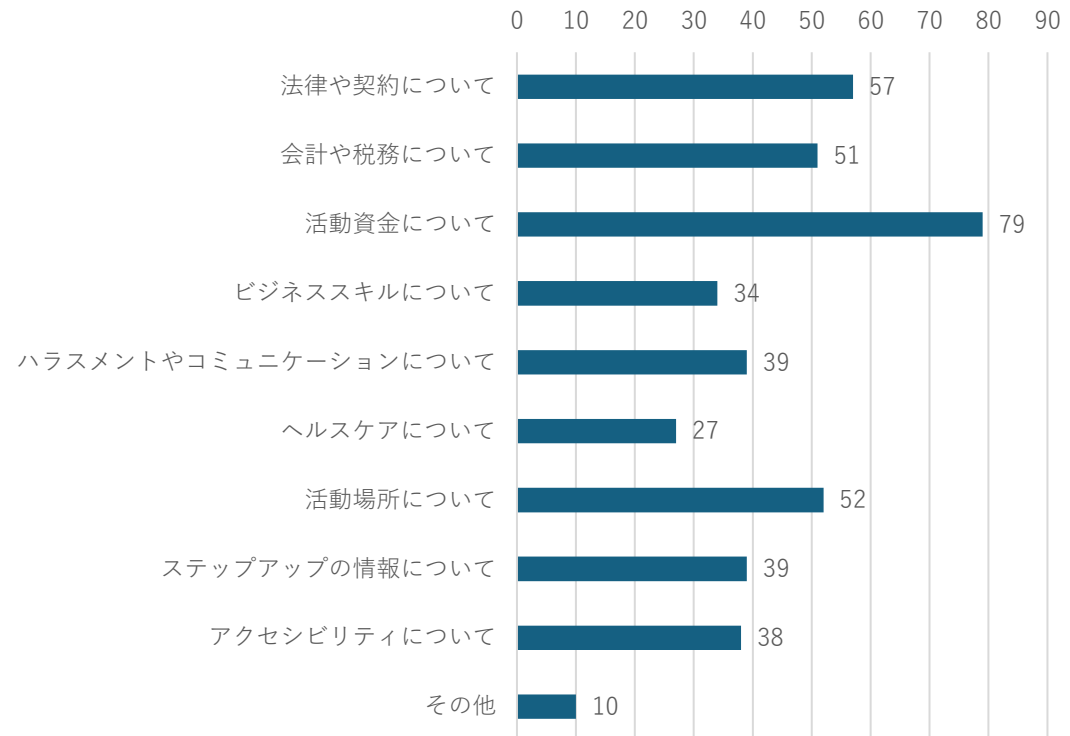
活動分野 〈単一回答〉



※ N = 119

※「その他」には芸術文化全般、特定のジャンルにとらわれない芸術活動等が含まれる。

活動を行う上で関心のあること 〈複数回答〉



※ N = 426

※「その他」には団体運営、ネットワーキング等が含まれる。



(3) スクール

第一線で活躍する講師をゲストに、創造の現場で必要不可欠な知識から時事的なトピックについての解説まで、7テーマ・47講座をオンラインを中心に開講
公式YouTubeでも各講座のアーカイブ動画を公開

a. 講座申込者数・動画視聴回数 25,902

テーマ	講座名	開催時期	集計期間中の 実施講座数	講座申込者数・ 動画視聴回数
法務・契約	芸術文化の担い手のための法務講座	令和5年11月～令和6年2月	4	3,828
	法務講座2024	令和6年8月～9月	2	301
会計・税務	プレオープンイベント特別企画 会計・税務講座「インボイス制度」	令和5年6月	1	675
	芸術文化創造活動の担い手のための 会計・税務講座	令和5年8月～11月	4	1,626
活動資金・活動場所	芸術文化団体の持続的な活動支援講座	令和5年10月	3	1,127
ビジネススキル	創造現場のビジネススキルはじめの一步	令和5年11月～令和6年2月	4	3,592
ハラスメント・ コミュニケーション	知っておきたい芸術文化の担い手のための ハラスメント防止講座	令和5年7月～9月	4	4,501
	ハラスメント防止講座2024	令和6年6月～9月	7	4,212
ステップアップ	芸術文化創造活動の担い手のためのキャ パシティビルディング講座	令和5年9月～令和6年2月	8	1,261
	キャパシティビルディング講座2024	令和6年8月～令和7年2月	3	234
アクセシビリティ	アクセシビリティ講座2024	令和6年5月～10月	7	4,545
合計			47	25,902

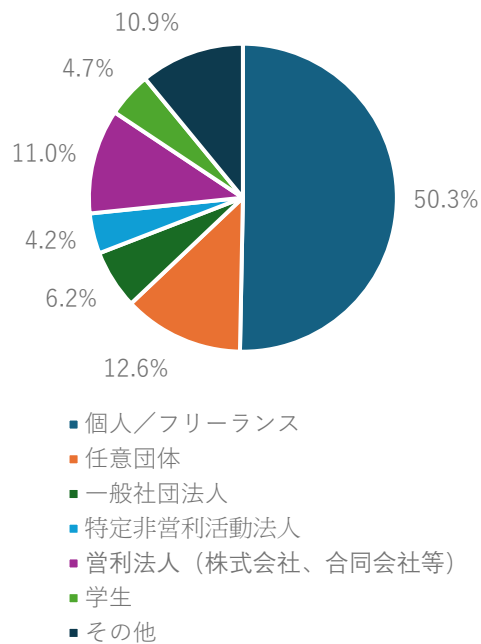
集計期間：令和5年6月～令和6年9月



b. 講座申込者の活動形態

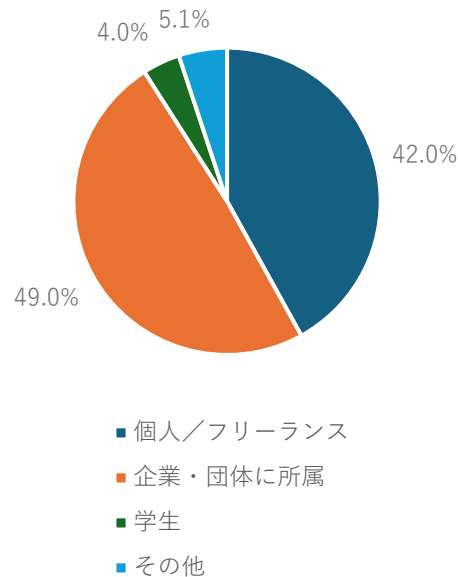
- 個人・フリーランスの活動形態は4割～5割程度。職種は技術・制作スタッフ・事務局職員が最も多い。
- 活動形態は令和5年度、令和6年度で選択項目が異なるため、別グラフで掲載。職種等は令和6年度よりアンケート項目に設置

活動形態（令和5年度）〈単一回答〉



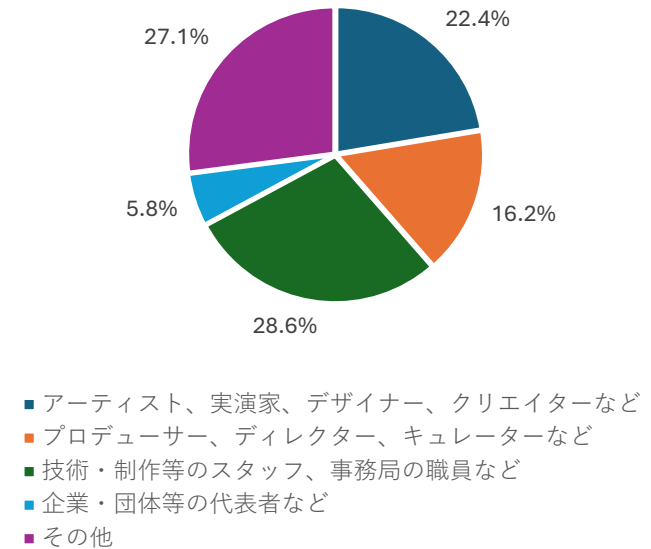
※ N = 4,441（活動形態について回答が得られた件数）
 ※「その他」には社会福祉法人、教員等が含まれる。

活動形態（令和6年度）〈単一回答〉



※ N = 1,592（活動形態について回答が得られた件数）
 ※「その他」には大学教員、アルバイト等が含まれる。

職種等（令和6年度）〈単一回答〉



※ N = 1,592（職種等について回答が得られた件数）
 ※「その他」には大学教員、主婦等が含まれる。





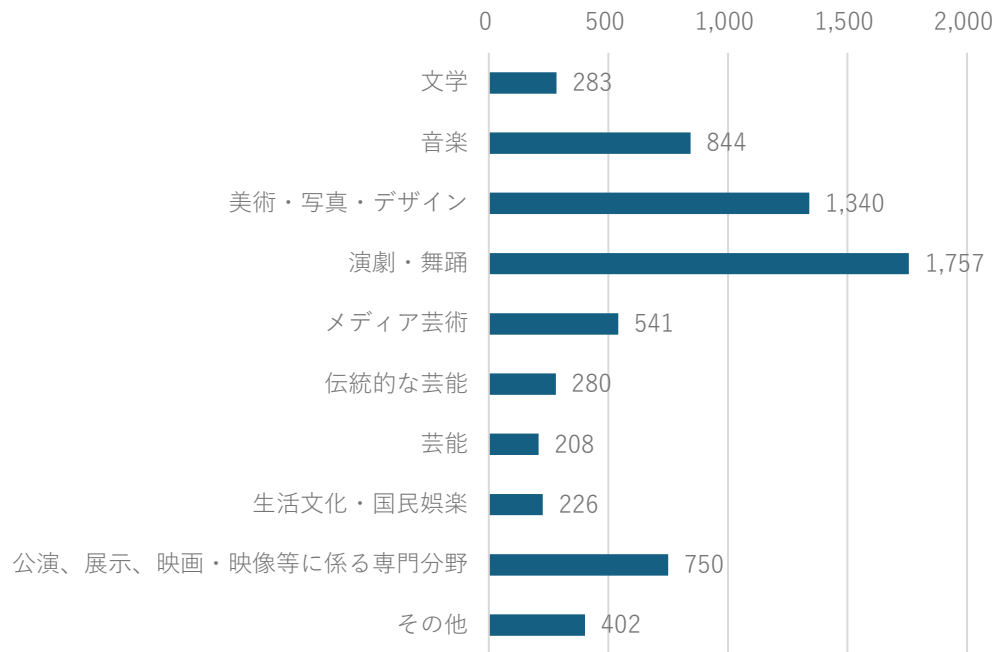
c. 講座申込者の活動分野

■ 演劇分野が最多、次いで美術分野が多い。

■ 令和5年度、令和6年度で選択項目が異なるため、別グラフで掲載

活動分野（令和5年度）

〈複数回答〉

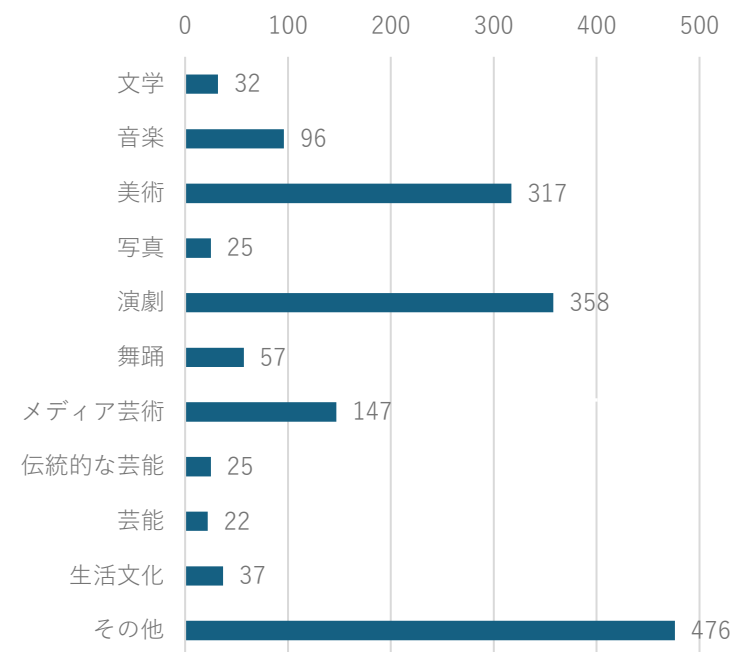


※ N = 6,631（活動分野について回答が得られた件数）

※ 「その他」には特定のジャンルにとらわれない芸術活動等が含まれる。

活動分野（令和6年度）

〈複数回答〉



※ N = 1,592（活動分野について回答が得られた件数）

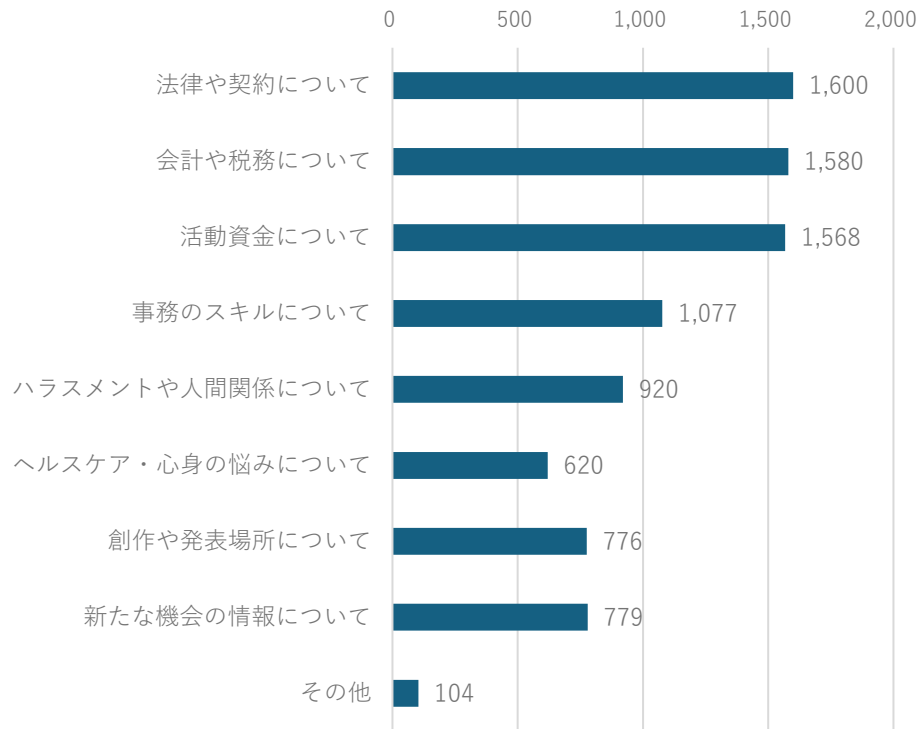
※ 「その他」には特定のジャンルにとらわれない芸術活動等が含まれる。



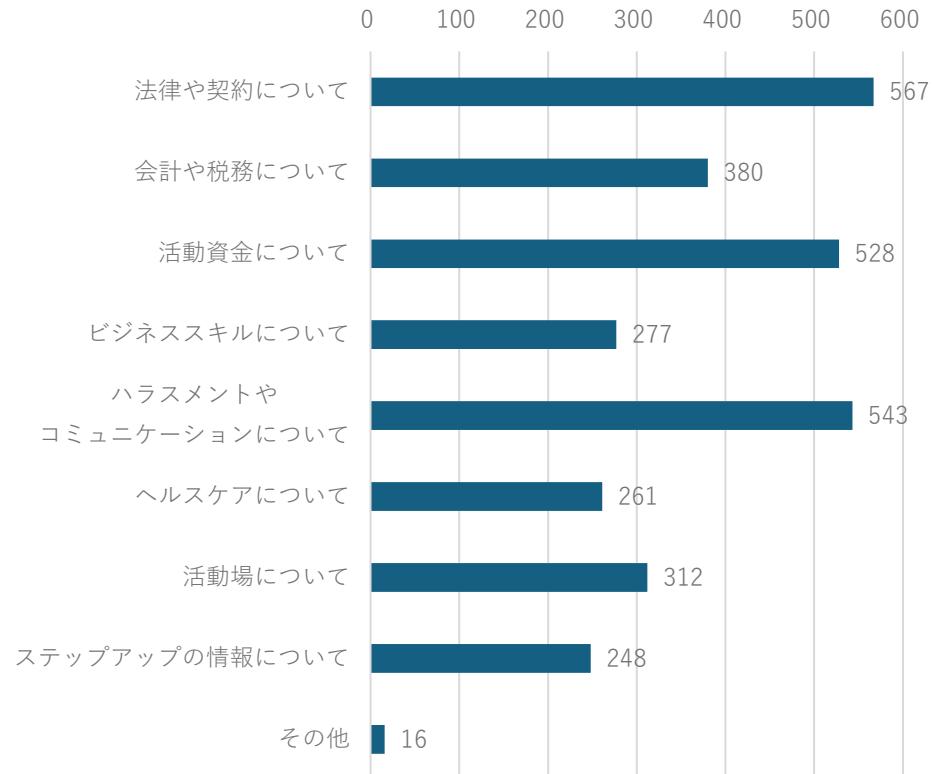
d. 講座申込者の活動を行う上で気になること

- 法務、会計・税務、活動資金、ハラスメントに対して特に関心が高い。
- 令和5年度、令和6年度で選択項目が異なるため、別グラフで掲載

活動を行う上で気になること（令和5年度）〈複数回答〉



活動を行う上で気になること（令和6年度）〈複数回答〉



※N = 9,024（活動を行う上で気になることの回答が得られた件数）

※N = 3,132（活動を行う上で気になることの回答が得られた件数）



e. 受講者の声

講座を受講された方からお寄せいただいた声をご紹介します。
※一部抜粋・要約あり。

【法務・契約】

- ・ 著作権関連の講義はほかにも受けたことがありますが、音楽を熟知していらっしゃる先生のお話が大変分かりやすく、興味深かったです。
- ・ 日々状況が変化するAIと著作権について注意すべき点などをもっと教えて欲しいです。

【会計・税務】

- ・ 基礎的なことをわかりやすく説明いただけて良かったです。
- ・ 芸術に携わっている対話者とのキャッチボールが良かったです。



【ビジネススキル】

- ・ 価格の決め方や売上のバリエーションを増やすこと等、具体的なヒントが多く今日から取り掛かれそうです。来年の仕事の仕方を考える手がかりにできそうだなと思っています。
- ・ 他のビジネススキル講座と違い、内容豊富で目から鱗ばかりでした。

【キャパシティビルディング】

- ・ 芸術文化を良い方向に導きたいという共通の思いを感じ、自分の活動の根本を見つめ直す機会を得ました。
- ・ 講師の心惹かれる言葉と行動力に敬意を持ちました。
- ・ 質疑応答の部分では、他の受講生の質問からさらに内容についての理解が深まりました。

【ハラスメント防止】

- ・ 体系的に聞くことができて良かったです。
- ・ 相談者役、相談対応役それぞれの立場の対応方法を実践的に学ぶことができて本当にためになりました。

【アクセシビリティ】

- ・ 個々の障害や状況を、当事者意識をもって考えることの重要性和難しさを体感しました。
- ・ 事例や実践を踏まえた具体的なお話をしていただいたため、できることを探し、取り入れていくためのヒントが散りばめられていると感じました。



(3) スクール【参考】 令和6年度 開催講座ラインアップ

詳細・申込：アートノート 講座情報 (<https://artnoto.jp/learning/>)

※受講料無料、手話通訳・文字支援あり。



アクセシビリティ講座

アクセシビリティの基礎知識や
芸術文化領域での具体的な実践
手法や工夫を学ぶ講座
令和6年5月～10月開講



ハラスメント防止講座

芸術文化活動におけるハラスメ
ントを防止するための実践講座
やワークショップ
令和6年6月～8月開講



法務講座

芸術文化領域と関わる法律や制
度の基礎知識、フリーランス新
法など活動に役立つ法務講座
令和6年8月・9月開講



社会保障・ セルフケア講座

あらためて知っておきたい社会
保障や持続的な活動につながる
セルフケアの基本を学ぶ講座
令和6年10月・11月開講



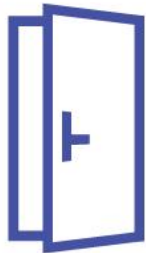
会計・税務講座

活動基盤の違いに沿った会計・
税務の基礎知識、持続的な活動
のためのヒントを得る講座
令和6年11月・12月開講



国際活動講座

国際的な芸術文化活動で役立つ
スキルや、芸術文化における世
界共通の課題などを知る講座
令和6年12月・令和7年1月
開講



ファンドレイジング講座

持続的な活動のための資金・リ
ソースの獲得に欠かせない基礎
知識やヒントを学ぶ講座
令和7年1月・2月開講



ビジネススキル講座

創造活動を支える事務手続きの
ノウハウやビジネスマナー&ス
キルについて学ぶ講座
令和7年1月・2月開講



キャンパティビリティ講座

芸術文化と社会の関係性を広い
視点でとらえ、実践者に必要な
思考力やスキルを磨く連続講座
令和6年8月～令和7年2月開
講

※アートノート公式YouTubeチャンネルで各講座のアーカイブ動画を公開しています。

